2014 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP
F4 PADDOCK NEWS Vol.2

才能と技術を育てるステップアップカテゴリー

東日本シリーズ開幕から3カ月ほど遅れて開幕したものの ルーキー、ベテランが入り混じる西日本シリーズも 激戦が続いている。これまでに終了した4戦を振り返る

今年のF4は開催スケジュールが大幅に見直されたこともあり、西日本シリーズは6月からのスタートとなった。その幕開けの舞台は、岡山国際サーキット。そして、東日本シリーズの第3戦、第4戦同様、独立した2連戦として開催された。FCクラスの7名を含む、17名のエントリーのうち注目されたのは牧野任祐と平木湧也、ふたりのルーキードライバーだった。ともに全日本カート選手権でシリーズチャンピオンの経験を持ち、牧野は11年のFS125を、平木は12年のKF1を制覇している。そのシーズンは牧野もKF1を戦い、4位に甘んじていた。だが、ふたりの再対決は、やや平木には分が悪かった。F4こそ初めてとはいえ、牧野はスーパーFJでフォーミュラの実戦を何度も経てきているのに対し、平木はフォーミュラ初参戦に等しかったからだ。

第1戦の予選では、牧野はレコードタイムを更新してポールポジションを奪ったのに対し、平木は松井孝允、浅原悠貴に続く4番手に。決勝では序盤のみ松井の抵抗を許した牧野だったが、中盤からは逃げ続けてデビューウインを達成。「スタートがうまくいきましたね！ 僕のなかでは今までで一番のスタートでした」と牧野は笑顔を見せた。上位の順位は予選と変わらず、総合5位の久保宣夫がAクラスを、続いてゴールの石川京侍がFCクラスを制することとなった。

翌日に行なわれた第2戦でも牧野はポールポジションを奪い、決勝でも逃げ続けたものの、終盤にギヤトラブルが発生して、無念のリタイア。代わってトップに立った松井にもエンジントラブルが発生し、ペースが上げられなくなってしまう。上位の不運にも乗じ、逆転勝利をつかんだのは平木だった。予選は4番手だったが、スタートでひとつ順位を上げた直後に接触し、フロントウイングを傷めていたにもかかわらず……。ただし、「まだ速さが足りません」と、うれしいはずの初優勝にも平木は笑顔を見せなかった。2位は久保で、Aクラス2連勝。松井はチェッカーを受けた直後にマシンを止めるも3位を獲得し、続いてゴールの根本悠生がFCクラスを制している。

鈴鹿サーキットに舞台を移して行なわれた第3戦にはFCクラスの7名を含む、16名がエントリー。2番手の加藤智に0・683秒差をつけた平木はポールポジションを奪ってなお、「まだ納得のいく走りではありませんでした」と表情を曇らせる。決勝でも後続を寄せつけず、7秒差で圧勝したが、「決勝の走りもまだ……。とはいえ、ずっとトップを走れ、今後なんとかもっといいレースをしてみせます」と志の高さをアピールした。2位、3位は予選順位のまま。加藤智に続いた植田正幸はAクラスで優勝。FCクラスは予選トップだった石川が逃げられず、福住仁嶺の逆転を終盤に許したばかりか、再逆転を狙った最終ラップのシケインでスピン。福住に続くクラス2位は坂口夏月で、総合4位、5位も獲得した。

第4戦は同じ鈴鹿サーキットでも、グランドスタンドを備える東コースが舞台となった。お盆真っ最中ということもあって、エントリーはFCクラスを含めても12名に留まった。練習走行で他を圧していた平木が、どれだけ予選でも引き離すか注目されるも、タイムを縮め続けていた最中にコースアウト。それでも辛くもポールポジションを奪い、面目を保つこととなった。2番手は浅原が、3番手は朝日ターボが獲得。そして4番手にはFCクラストップの坪井翔が、平木から1秒遅れず続いていた。

決勝では波乱は続く。好スタートを切って、逃げ続けていた平木に黒旗提示。「スタート直前にストールしかけて、ほんの少しだけ動いてしまったんです」と平木。そのため、ドライビングスルーを命じられ、大きく順位を落としてしまう。浅原と朝日もコースアウトで順位を落としていたこともあり、代わってトップに立ったのはFCクラスの福住。スタートで坪井の前に出て、朝日を壁として差を広げていたのが功を奏することに。「クラス優勝より、総合で勝てたのが何よりうれしいです」と福住。坪井が続いて2位でフィニッシュし、3位は浅原で、これがCクラスでの初優勝に。一方、平木は激しい挽回を見せたものの、総合4位とクラス2位を得るのがやっとだった。

さて、4戦を終了した結果、ランキングトップの平木は2位の浅原より前でフィニッシュすれば最終戦を待たずしてチャンピオン獲得となる。だが、次回のレースは富士スピードウェイを舞台に、東日本シリーズ最終戦との変則2連戦だ。となれば、すでにチャンピオンを決めている三笠雄一も出場する可能性は充分にあるはず。東西の雄による初めての直接対決が、大いに注目される。

また、今季から設けられたFCクラスでは根本が東西合わせ4勝をマークしているが、リタイアも2戦あるため、現時点ではランキング2位に。2勝の福住がランキングのトップを独走中だ。

次戦、平木は浅原より前でフィニッシュすれば 最終戦を待たずチャンピオン

左上：第4戦、FCクラスの2台に先行されるも、Cクラスではトップ、優勝の20ptを加えランキング2位につけた浅原。右上：その第4戦でトップチェッカーを受けたのは福住。左下：地道にポイントを重ねてランキング3位につける朝日。右下：上位以下も毎戦、接戦続きだ。

ROUND 1 Podium

ROUND 2 Podium

ROUND 3 Podium

ROUND 4 Winner

ROUND 1 OKAYAMA RESULT

●6月14日 ●岡山国際サーキット ●15周

Pos	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	5	A	牧野任祐	マルサンミスト制動屋Rn・SPORTS	23'14"837
2	25	C	松井孝允	サムライサポーターズF4	+1"482
3	50	C	浅原悠貴	CMインダストリー・RK01	+7"211
4	18	C	平木湧也	SUCCEED SPORTS F108	+10"157
5	12	A	久保宣夫	佐藤製作所☆オートセレクトMYST制動屋	+29"292
6	60	FC	石川京侍	HFDP／SRS-F／コチラR	+32"599
7	62	FC	福住仁嶺	HFDP／SRS-F／コチラR	+39"060
8	70	C	朝日ターボ	ヴァンガード・S Road☆MC090	+41"138
9	92	FC	坪井　翔	美人&LTV フィールドFTRS	+41"897
10	61	FC	坂口夏月	HFDP／SRS-F／コチラR	+42"270
11	63	FC	大津弘樹	SRS-F／コチラレーシング	+48"382
12	93	FC	小河　諒	TEAM TOM'S	+51"100
13	90	FC	根本悠生	WiLLDO ZTE スピリット	+52"039
14	16	C	黄　度允	ZAP SPEED・KOR・DY・108	+53"592
15	11	A	鶴田和弥	Rn-sports制動屋KKZS☆ミスト	+55"431
16	37	C	長　優子	B-MAX・RK01・TODA	+1'25"583
17	27	C	SYUJI	B-MAX RK01 TODA	−1Lap

ROUND 2 OKAYAMA RESULT

●6月15日 ●岡山国際サーキット ●15周

Pos	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	18	C	平木湧也	SUCCEED SPORTS F108	23'43"647
2	12	A	久保宣夫	佐藤製作所☆オートセレクトMYST制動屋	+4"422
3	25	C	松井孝允	サムライサポーターズF4	+7"256
4	90	FC	根本悠生	WiLLDO ZTE スピリット	+14"719
5	92	FC	坪井　翔	美人&LTV フィールドFTRS	+15"207
6	60	FC	石川京侍	HFDP／SRS-F／コチラR	+15"763
7	62	FC	福住仁嶺	HFDP／SRS-F／コチラR	+16"731
8	11	A	鶴田和弥	Rn-sports制動屋KKZS☆ミスト	+18"851
9	61	FC	坂口夏月	HFDP／SRS-F／コチラR	+19"613
10	63	FC	大津弘樹	SRS-F／コチラレーシング	+22"961
11	70	C	朝日ターボ	ヴァンガード・S Road☆MC090	+23"218
12	93	FC	小河　諒	TEAM TOM'S	+27"534
13	16	C	黄　度允	ZAP SPEED・KOR・DY・108	+37"685
14	37	C	長　優子	B-MAX・RK01・TODA	+52"283
15	27	C	SYUJI	B-MAX RK01 TODA	+1'25"964
16	5	A	牧野任祐	マルサンミスト制動屋Rn・SPORTS	−2Laps
	50	C	浅原悠貴	CMインダストリー・RK01	−10Laps

ROUND 3 SUZUKA RESULT

●7月6日 ●鈴鹿サーキット ●10周

Pos	No	C	Driver	Machine	Time/Gap
1	18	C	平木湧也	SUCCEED SPORTS F108	20'47"693
2	10	C	加藤　智	FEEL! RK01・TODA	+8"784
3	11	A	植田正幸	Rn-sports制動屋ミストKK-ZS	+22"413
4	62	FC	福住仁嶺	HFDP/SRS-F/コチラR	+33"210
5	61	FC	坂口夏月	HFDP/SRS-F/コチラR	+34"592
6	34	C	早坂公希	CMS☆MC090	+36"054
7	50	C	浅原悠貴	CMインダストリー・RK01	+37"417
8	35	A	髙橋忠克	髙宮商事ミストKK-ZS	+46"283
9	63	FC	大津弘樹	SRS-F/コチラレーシング	+47"398
10	44	A	塚田光彦	東海電装WESTスプリント関口056	+50"886
11	93	FC	小河　諒	TEAM TOM'S	+52"298
12	70	C	朝日ターボ	ヴァンガード☆S・Road☆MC090	+56"988
13	92	FC	坪井　翔	美人&LTVフィールドFTRS	+57"874
14	37	C	長　優子	B-MAX・RK01・TODA	+1'03"965
15	60	FC	石川京侍	HFDP/SRS-F/コチラR	+1'25"161
	90	FC	根本悠生	WILLDO ZTE SPIRIT	−4Laps

ROUND 4 SUZUKA RESULT

●8月17日 ●鈴鹿サーキット（東コース） ●23周

Pos	No	Class	Driver	Machine	Time/Gap
1	62	FC	福住仁嶺	HFDP/SRS-F/コチラR	22'03"209
2	92	FC	坪井　翔	美人&LTVフィールドFTRS	+0"985
3	50	C	浅原悠貴	CMインダストリー・RK011	+1"692
4	18	C	平木湧也	SUCCEED SPORTS F108	+15"691
5	70	C	朝日ターボ	ヴァンガード☆S・Road☆MC090	+21"153
6	60	FC	石川京侍	HFDP/SRS-F/コチラR	+21"284
7	63	FC	大津弘樹	SRS-F/コチラR	+24"750
8	44	A	塚田光彦	東海電装WESTsprint関口056	+25"394
9	90	FC	根本悠生	WILL-DO ZTE スピリット	+25"954
10	93	FC	小河　諒	TEAM TOM'S	+27"254
11	61	FC	坂口夏月	HFDP/SRS-F/コチラR	+28"441
12	11	A	植田正幸	Rn-sports制動屋ミストKK-ZS	+37"384

WEST SERIES ROUND 1-4 REPORT
第4戦まで終了した西日本シリーズの中間展望
台頭する若手ドライバーの激突

DUNLOP F4東西シリーズはダンロップタイヤのワンメイクレースです F4協会HP www.formula-racing.org